

令和元年度 小平市立 鈴木小学校 学校評価計画表

学校教育目標 よく考え やさしく 元気な 鈴木の子
 ○よく考える子・・・基礎・基本の習得とそれを活用する力を身に付け、自分の考えをもち、判断し、行動できる子ども ○やさしい子・・・自他の生命を尊重し、共に生きる豊かな心をもつ子ども ○元気な子・・・心身ともに健康で、粘り強くやりぬく子ども

目指す学校像(ビジョン)
【目指す学校像】 ○人権尊重の精神を基盤とし、集団や社会との関わりを通して、すべての人が成長できる学校ー子ども同士、子どもと教師、教師同士、学校・保護者・地域の好ましい人間関係の構築ー
【目指す児童・生徒像】 ○子ども同士が認め合い、共に喜び、何にでも挑戦する意欲がある児童
【目指す教師像】 ○自己の使命と責任を自覚して学校を開き、教師同士が学び合い、協力し合って職務に励み、子どもと共に成長する教師

前年度までの学校経営上の成果と課題
 ○小規模校ならではの児童へのきめ細かい指導や特別支援教育の視点を生かした教育環境の整備により、学力・体力ともに少しずつ向上した。また、少ない教員数で保護者へ協力をお願いしながら教育活動を展開できた。今年度も業務改善を行って働き方を見直し、教職員の心身の健康も保持しながら、主幹教諭を中心として組織的に教職員の資質を向上を図る。その上で、児童の自己肯定感を高め、意欲的に行動できる児童の育成を目指す。

	中期的経営目標	短期経営目標	具体的方策	努力目標(評価基準)		成果目標(評価基準)		
学力向上	◎知識・技能の確実な定着 ◎主体的・対話的で深い学びの実践	○学習ルールによる意欲の向上	●計画的に鈴木タイムとベーシックタイムの実施により、確実な知識の定着を行う。 ●鈴木小学習ルールを確実に実行し、定着させる。 ●10分×学年の家庭学習を保護者にも働きかけ、定着させる。	4	教職員の取組評価平均3.5以上 かつ □家庭学習定着率80%以上	4	単元終了時テストの平均正答率通過が児童の80%以上	
				3	教職員の取組評価平均2.5以上 かつ □家庭学習定着率70%以上	3	単元終了時テストの平均正答率通過が児童の70%以上	
				2	教職員の取組評価平均2.0以上 かつ □家庭学習定着率60%以上	2	単元終了時テストの平均正答率通過が児童の60%以上	
		1	教職員の取組評価平均2.0未満 または □家庭学習定着率60%未満	1	単元終了時テストの平均正答率通過が児童の60%未満			
		○言語環境の整備と言語活動の充実	●自分の考えを発表し、学び合いの場面を日常的に取り入れた授業を行う。 ●読書活動の充実して語彙力を高め、正しい言葉遣いで話し合う力を高める。	4	教職員の取組評価平均3.5以上	4	児童の自己評価で上記項目の平均3.5以上	
				3	教職員の取組評価平均2.5以上	3	児童の自己評価で上記項目の平均3.0以上	
	2			教職員の取組評価平均2.0以上	2	児童の自己評価で上記項目の平均2.5以上		
	1	教職員の取組評価平均2.0未満	1	児童の自己評価で上記項目の平均2.5未満				
	○学びの質を高める授業改善	●多様な考えを発表できる場を生かした、学び合いや深め合う授業を実践する。 ●外部の研究会や公開授業に積極的に参加し、校内に還元する。	4	教職員の取組評価平均3.5以上 かつ □研修会実施20回以上	4	児童の自己評価で上記項目の平均3.5以上		
			3	教職員の取組評価平均2.5以上 かつ □研修会実施15回以上	3	児童の自己評価で上記項目の平均3.0以上		
			2	教職員の取組評価平均2.0以上 かつ □研修会実施10回以上	2	児童の自己評価で上記項目の平均2.5以上		
			1	教職員の取組評価平均2.0未満 または □研修会実施9回以下	1	児童の自己評価で上記項目の平均2.5未満		
◎人権教育の推進 ◎いじめの撲滅と豊かな心の育成 ◎特別活動の充実			○あいさつ運動の推進と人権感覚の向上	●自分から先にあいさつすることや場に応じたあいさつをすることの学習を行う。 ●いいねさんカードの取組みを推進し、人権感覚を高める学習を実践する。	4	教職員の取組評価平均3.5以上	4	保護者・地域の評価で上記項目の平均3.5以上
					3	教職員の取組評価平均2.5以上	3	保護者・地域の評価で上記項目の平均2.5以上
	2	教職員の取組評価平均2.0以上			2	保護者・地域の評価で上記項目の平均2.0以上		
	1	教職員の取組評価平均2.0未満	1	保護者・地域の評価で上記項目の平均2.0未満				
	○豊かな心の醸成と道徳教育の充実によるいじめ防止の推進	●学期1回の規則の尊重の道徳の授業や生活指導等による規範意識を高める学習を実施する。 ●いじめに関する授業を年間3回全学級で実施する。	4	いじめに関する授業・規範意識を高める活動の実施総計40回以上	4	児童の自己評価で上記2項目の平均3.5以上		
			3	いじめに関する授業・規範意識を高める活動の実施総計30回以上	3	児童の自己評価で上記2項目の平均2.5以上		
2			いじめに関する授業・規範意識を高める活動の実施総計20回以上	2	児童の自己評価で上記2項目の平均2.0以上			
1	いじめに関する授業・規範意識を高める活動の実施総計19回以下	1	児童の自己評価で上記2項目の平均2.0未満					
○様々な集団活動を通じた課題解決力の向上	●たてわり班活動や係活動等を通して主体的に考えて実践する力を育成する。	4	教職員の取組評価平均3.5以上	4	児童の自己評価で上記項目の平均3.5以上			
		3	教職員の取組評価平均2.5以上	3	児童の自己評価で上記項目の平均3.0以上			
		2	教職員の取組評価平均2.0以上	2	児童の自己評価で上記項目の平均2.5以上			
		1	教職員の取組評価平均2.0未満	1	児童の自己評価で上記項目の平均2.5未満			
		◎運動習慣の定着と運動への興味関心の向上	○運動の日常化	●休み時間に外遊びを奨励し、日常的に体を動かす。 ●なわとび旬間、マラソン旬間、大なわデーの継続的に取り組む。 ●体育科の授業の充実と体育集会の実施により、多様な運動を通して運動するよさを実感させる。	4	教職員の取組評価平均3.5以上	4	体力テスト8項目中5項目以上で向上している
					3	教職員の取組評価平均2.5以上	3	体力テスト8項目中3項目以上で向上している
2	教職員の取組評価平均2.0以上				2	体力テスト8項目中1項目以上で向上している		
1	教職員の取組評価平均2.0未満		1	向上が見られない				
○オリ・パラ教育の推進	●歴史や意義を学習し、運動に親しむ態度を育成する。 ●パラリンピック競技等に触れ、スポーツのよさを味わう授業を全学年が実施する。		4	教職員の取組評価平均3.5以上	4	児童の自己評価で上記項目の平均3.5以上		
			3	教職員の取組評価平均2.5以上	3	児童の自己評価で上記項目の平均2.5以上		
		2	教職員の取組評価平均2.0以上	2	児童の自己評価で上記項目の平均2.0以上			
1	教職員の取組評価平均2.0未満	1	児童の自己評価で上記項目の平均2.0未満					
郷土愛の育成	◎保護者・地域との連携と地域人材の活用 ○学校教育の情報発信 ○地域人材や関係機関の活用	●各学年・専科等の学習の様子を毎月ホームページで紹介する。 ●地域人材や関係機関と連携した学習を全学年において実施する。	4	毎月のホームページ紹介の実施総計80回以上	4	保護者・地域の評価で上記項目の平均3.0以上		
			3	毎月のホームページ紹介の実施総計60回以上	3	保護者・地域の評価で上記項目の平均2.5以上		
			2	毎月のホームページ紹介の実施総計40回以上	2	保護者・地域の評価で上記項目の平均2.0以上		
			1	毎月のホームページ紹介の実施総計39回以下	1	保護者・地域の評価で上記項目の平均2.0未満		
業務改善(働き方)	◎勤務時間・健康管理を意識した働き方を推進する。 ○時間内に効率よく業務を進めるための仕組みを整える。	●会議の効率化、行事の精選をすすめる。	4	教職員の取組評価平均3.5以上	4	保護者・地域の評価で上記項目の平均3.0以上		
			3	教職員の取組評価平均2.5以上	3	保護者・地域の評価で上記項目の平均2.5以上		
			2	教職員の取組評価平均2.0以上	2	保護者・地域の評価で上記項目の平均2.0以上		
			1	教職員の取組評価平均2.0未満	1	保護者・地域の評価で上記項目の平均2.0未満		